

レディースNOW

商工女性は今
茨城県商工会女性部連合会
水戸市桜川2丁目2番35号
電話 (029) 224-2635
FAX (029) 226-0955
発行者 桜井 姚
女性部員数 4,183人



桜井会長あいさつ

県商工会女性部 議場において第11
連合会では、1月 回茨城県商工会女
性部主張発表大会



最優秀賞に輝いた南條恵子さん（城里町）

女性部
主張発表大会

夢をかたちに 南條さん（城里町）が最優秀賞

及び部員研修会を
開催した。
主張発表は北中
満里子さん（東海
村）「継続は力なり」・
南條恵子さん（城里
町）「夢をかたちに」・
城之内範代さん（神
栖市）「小さなお店
で大きな絆」・永井
洋子さん（土浦市
新治）「高齢化社会
をどう考える」・宮
本正枝さん（河内
町）「ボランティア
活動に参加して」・
青木明美さん（下
妻市）「母からのバ
トンタッチ」の6名
の方々が、日頃の思
いを主張発表した。
厳正な審査の結
果、最優秀賞には
なる。

南條さんは、夢
をかたちにをテーマ
に、EM菌を利用し
た廃油石鹸等の作
成と、地産地消に
よる地場産業振興
としてシフォンケ
ーキ作成の話を発表
し、その活発な活
動内容が評価され
ての受賞となった。
本年7月に開催さ
れる関東ブロック
交流研修会（栃木
大会）に本県代表
として出場し発表
する。



桜井会長と発表者との記念写真



講師の太田成男先生

女性部員
研修会

体が若くなる技術を 太田先生が伝授

誰しも年齢を重ねて
来ると、体のことが不
安になってきます。体
の若返りは人類の永遠
のテーマと言えるで
しょう。そこで、県商
工女性部連合会では、
ミトコンドリア学や水
素医学などでマスコミ
に話題沸騰、今や各方
面でもひっぱりだこの日
本医科大学老人病研究
所教授太田成男先生を
講師にお招きし、1月
29日つくば国際会議場
において部員研修会を
開催し、先生に体の若
返り方法を伝授してい
ただきました。

先生のお話では、ミ
トコンドリアの量を体
内で増やしさえすれば、
体の機能は向上し、健
康的に暮らし、代謝が
活発になれば美容への
効果も少なくないよう
です。そして、よいミ
トコンドリアを増やす
方法は以下の4つとの
ことです。

- (1) 持久力のトレーニ
ング
- (2) 背筋を伸ばすこと
- (3) 寒さを感じることに
慣れること
- (4) 空腹になること

また、「水素は体に
悪い活性酸素だけを選
んで除去するのが特徴」
という先生は、5年前、



熱弁する太田先生



桜井会長あいさつ

は、「必ず商売繁盛に繋
がる人脈のつくり方と
活かし方」のプログラ
ムに、いばらきデー
リースセミナーを開
催した。第一部のテー
マ

代表取締役で赤
坂離宮取締役役
業本部長の佐野
由美子氏を講師
にお招きした。

先生は大学卒
業後大手保険会
社に入社した後、
レストラン業界
に入りサービス
業の世界に身を
投じた。その後
独立し、赤坂離
宮の開業などに
も関わり、その



講師の養老孟司先生

豊富な経験をかわれ
現在は女子栄養大学の
非常勤講師も勤めてい
る。また平成15年には
日本文化振興会より社
会文化功労章を受賞し
た。

先生の専門である
「いかにリピート率を
上げて商売繁盛に繋げ
るか」を約250名の
女性部員たちは熱心に
聴講した。

また第二部では、東
京大学名誉教授の養老
孟司先生を講師にお招
きし、「脳」のつくり
方と心の壁・社会の壁
と題し、社会の様々
な壁を取っ払って、ほ
んとものものの見方を
知り、いかに大切な
ことを身に付ける方法
などについての講義を
受けた。

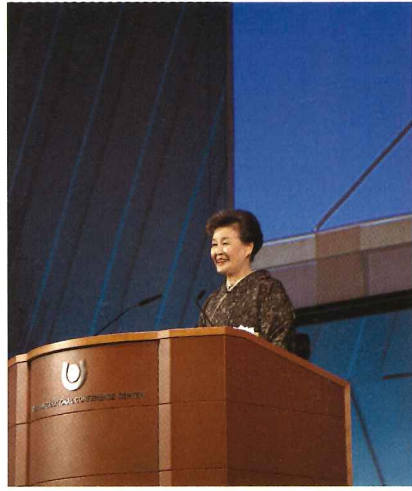
聴講した部員たちは
目から鱗が落ちたよう
に、今までの常識に囚
われない斬新な知識を
得ることができた。

茨城県商工会女性部
連合会では、今後も女
性力に磨きを掛けられ
るようなセミナーを実
施して参ります。



女性部
全国大会

紅葉間近の 京都を訪ねて



未武全女性連会長のあいさつ

は女性の活躍が地域を支えているとあいさつ。着物で登壇した市長は、女性官職を積極的に増やしているといふ。主

張発表大会では、関東ブロック代表の静岡県が最優秀賞に輝いた。

翌日の視察研修のおもてなし会場は、南丹市にある八つ橋工場。高速で移動する距離でありながら、

途中いくつもの名所がある。どこに行っても観光地である京都の裏打ちされた歴史や文化に圧倒さ

れながら、紅葉の時期に、また訪れたいと古の町を楽しんだ。

第14回商工会女性部全国大会（京都大会）が「おこしやす 古都の息吹を はんわりとく笑顔でつなぐ京の絆・今日の絆」をスローガンに、

昨年の10月16、18日の両日、京都市左京区宝池「国立京都国際会館」で開催された。

全国から約2600名の商工会女性部リーダーが一堂に会し、更

なる飛躍を期することを目的に、本県からは桜井桃・県女性連会長他60名が参加した。

大会会場では、入り口までの通路を女性部員達が着物で華やかに迎え、オープニングは五人の舞妓さんの優雅な舞いの披露。日常生活に味

わえない日本の文化に触れることができた。大会では府知事

可憐な舞妓

主張発表大会風景

商工会女性部 おもてなし交流事業

赤い椿の花咲く島で、 アンコさんとつばきの 花びら染をする体験の旅 ―大島町商工会女性部によるおもてなし―



大島町女性部員との記念写真

の出棧橋を出港し、順調に大島の元町港に到着しました。元町港では、地元の大島町商工会女性部員さん方の盛大なお出迎えを受け、早速ホテル椿園で用意したマイクロバスで島内観光視察に向かいました。

特に視察地の三原山では、素晴らしい景観に感動し、夕日に沈む美しい伊豆半島の景色に見とれてしまいました。

ホテル椿園で実施した女性部員同士の交流会では、鶴崎大島町商工会長、金子大島町女性部長、桜井茨城県女性連会長のあいさつの後、お互いの意見交換やアンコの巻き方の実習、大島町の民謡や踊りまでご披露されました。私たちもつくば音頭の披露をし、皆さんで音頭に参加したりして、大いに盛り上がりました。

二日目は朝から風雨が強く、生憎の天候となつてしまいましたが、金子部長による椿染の体験学習での熱心な指導や、バスガイドの経験もあつた金子女性部役員さんによるマイクロバスでの懇切丁寧な説明に大変感激いたしました。

午後からますます風雨が強まる中、帰りの岡田港ではお出迎えの時間と同じように、金子部長さんをはじめ、多くの部員さん方のお見送りを受け、ひと時のお別れを惜しましました。船が出港しても、いつまでも手を振り続ける部員さん方を見て胸がいっぱいになりました。

出港して外洋に出ると非常な高波で、ジェット船は木の葉のように揺

れ続け、多くの方が船酔いになりましたが、寄港地の久里浜港に着いたところにはどうにか高波も治まり、約1時間遅れでやっと東京日の出棧橋に帰港いたしました。

このように帰りは大変な思いをしましたが、大島で女性部から受けた「おもてなし」は全て感動的で、すばらしい思い出になりました。これからはこの経験を活かし、大島町の女性部員との交流を深め、茨城県でもこのような交流が出来るよう心がけたいと思いました。



大島三原山にての記念写真



金子部長による椿染の体験学習

表彰 されました。

平成24年11月22日NHKホールにおいて、第52回商工会全国大会が開催され、次の女性部及び部員の方々が受賞されました。

日頃の活動の成果が認められての受賞です。誠にありがとうございます。

・中小企業庁長官賞
銚田市商工会女性部（礼洋子部長）

・全国商工会連合会会長賞
五霞町商工会女性部（小林弥生部長）

利根町商工会女性部（武藤美知子部長）

・女性部功労者（敬称略）
藤田孝子（前県女性連副会長・北茨城商工会女性部部長）

大和田みよ（前県女性連監査委員・前銚田市商工会女性部長）





ある寒い雪まじりの午後の店に、若いお兄さんが豚肉を、中年の女性が揚げ物を買いに来ていました。その接客をしていた

張り切り人 美

“オアシス華寿枝美容室”・華



母に子供を預けながらの美容室勤め！友達の誘いで自分の店を開く事が出来ました。

現在は伊奈東中の近くに家を建て、母に弟・息子の子の4人で一家和楽の

のが、鹿嶋市の笹本精肉店に嫁いで20年、もうすつかり店の看板の顔になった友紀子さん。

北海道生まれのサラリーマン家庭育ちなので、初めて丸のままの豚を見てビックリ



早く覚えて自分のものにしたいと話す彼女に、早くそうなるってほしいとエールを送る義母、それをやさしく見守る御主人と義父の姿にこの店の根幹をみた気がしました。

あいを大切に、地元で愛される店づくりをしていきたいと張り切っている、とってもステキできれいな人でした。

銚田市商工会女性部(札 洋子 記)

15年... 10年前に女性部に加入し、先日も養老孟司先生のセミナーに参加しました。「自分で生きているようだけども、周りに活かされてる」と言う言葉に共感しました。現在息子は、



います。こんな息子が私の自慢です。これから、自らの経験をフルに生かしお客様の心のオアシスを目指して頑張ります！

つくばみらい市商工会女性部(鈴木和枝 記)



「また、食べたくなる味」
麺のすなオシ
http://men-sunaoshi.com
フリーダイヤル イーナ スナオシ
電話でのご注文 お問い合わせは 0120-17-4704

あんな店
こんな店

風情あるたたずまいの宿
砥上屋旅館
〒319-1701 茨城県北茨城市 平潟町 141
TEL 0293-46-0418

大正4年に創立、水戸市小泉町に本社・工場を置く「株式会社 麺のすなオシ」さんへ取材も兼ね、見学に行ってきた。塩ヶ崎十文字を湊大橋方面へ向かって行くと、右側に広大な数棟の建物が目飛び込んできます。創業当時はフナ工品を扱っていたとのことで、時代の流れとともに細い物つなから乾麺製造に移行したそうです。

訪問してまず感じたのは、取扱商品の種類が豊富！なかでも舌触りとコシの強さが存分に楽しめる「手打ち風うどん」ご馳走麺シリーズ「とろろうどん」がおすすめ。そば、各種ラーメンも好評です。「より良い品をより安く」をモットーに小売や通販も。



健康に留意した、体に優しい食品づくりで、めざすは「オンラインフン・ローカルメーカー」。結婚して30年になるけれど、家にはご飯を炊く釜がないんですよ、と奥様。「一日が麺で始まり麺で終わる」のだから、それぞれの麺に

とても寒い日でしたが、一体となつて頑張る熱い想いに麺を通して温もりを感じるひと時でした。

(宮川綾子、高橋和子 記)

北茨城市は文字通り県の最北端に位置し、更に市内でも福島県との県境に位置します。昔から、黒潮と親潮がぶつかる豊かな漁場として平潟港があります。その港を眼下にのぞむ、明治43年に建てられた3階建ての味わいのある温泉旅館「砥上屋」。

震災をも乗り越ったその104年目の風格ある旅館は、現在で5代目で、目の前の港から水揚げされた魚介を惜しみなくご提供されます。



笠間の母さんのすいとん豚汁

2月10日、11日に県内外の味自慢の80軒のテントがズラリと並び、グルメサミットイン笠間が芸術の森イベント広場で行われました。女性部は、笠間の母さんのすいとん豚汁と銘うつて、野菜たっぷりで、愛情たっぷりのアツアツのすいとん入りの豚汁を出しました。「儲けより喜んでもらうのが一番だよね。」との合言葉で、採算度外視の立派な盛りのよさです。「こりゃ、300円じゃ安いよ。500円の価値があるよ。」と

たつぶり、スープは味噌と醤油味です。すいとん粉は専門の粉を使いました。

すいとんの水加減、練り具合が難しく決まるまで悪戦苦闘でしたが、そこはベテラン主婦ぞろい慣れてしまえばスイスイで

店に行列ができる中、女性部のすいとん豚汁も大健闘しました。「このが一番旨かったよ」と言ってくださるお客様もいて、疲れも吹き飛ばす部員同士、またひと



キズナ強化プロジェクト事業

潮来市商工会女性部

日本政府実施の「青少年国際交流を通じた復興への貢献」のもと、高校生、大学生（4回にわたり350名余）が潮来市を訪れました。私たち商工会女性部は、潮来市からの依頼により、潮来市のシンボルでもある、あやめの造花作りを教えることにしました。

被災地の日出地区を視察のあと、子供いやしの世代の生徒たちを部員は、潮来市商工会女性部のTシャツを着て会場で迎えました。学生達は皆、さわやかな笑顔で会場に入ってきた。言葉は通じなくても、身振り手振り指導をするというより一緒に作業をしました。

生徒達は、ボランティア活動を通して、被災地との交流、復興に貢献するという主旨のも

とたくさんのおやめの花を作っていてくれました。今年のあやめ祭りの開催中、女性部が出店する売店で販売するために。

私達部員が楽しませてもらった楽しいながらもかな会場でした。

帰りには、私達ち部員がお土産に作ったあやめの花を持ち、次の訪問地東京へと向かいました。彼らがそれぞれの国に帰って、日本

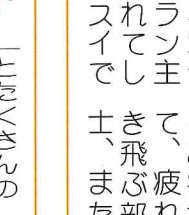
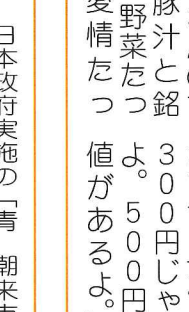
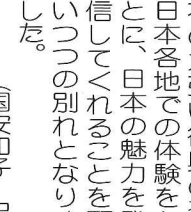
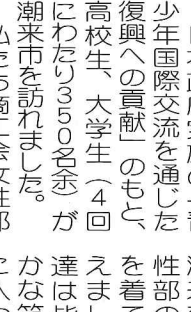
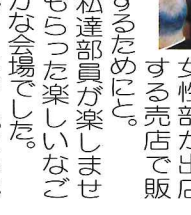
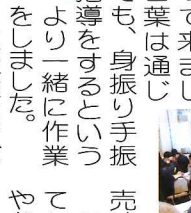
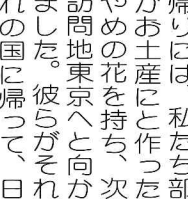
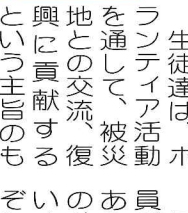
本

の力強い復興の姿

日本各地での体験をもとに、日本の魅力を発信してくれることを願

い、一つの別れとなりました。

（国安和子 記）



女性部創立50周年記念事業

那珂市商工会女性部

当商工会女性部は昭和35年に那珂町商工会婦人部として、初代部長をはじめ役員の方々のご努力により発足し、現在部員100余名にまで増員すること

ができ、平成18年4月に那珂町商工会と瓜連町商工会が合併し那珂市商工会に成り、那珂市商工会女性部も新たに誕生した。

昨年、11月27日に創立50周年にあたり、ひたなかにあるクリスタ

記念講演では、那珂ふるさと大使の宮下敏子さんを講師に「話し方を磨いてハッラツと生きよう」をテーマに講演を頂き、祝賀会では、水戸市を中心に津

さんの演奏など盛大に行われた。

わたしたち女性部は50周年の節目にあたり、地域商工業の振興発展に積極的に取り組み、女性のパワーを活かしたい。

手となるよう、これからも活動を行って行きたい。

(秋谷 美登里 記)



和の心伝えて―祭りへの参加―
かすみがうら商工会女性部

陽だまりの中で緋色の和布に、一針一針心をこめて、小さな着物を縫っているお婆さんがあります。子供の成長を願って、雛壇に並べて飾る着物だと教えてくれました。昔から伝わる風習も、時代とともに薄らいで淋しいと思うことが多くあります。

小さな子供ならずとも、着物を着ると女

に二度着物で変身します。その一つは、正月三日のお城市への参加です。霞ヶ浦のほとりの郷土資料館でもあるお城で開催される、市への参加は和装が条件。城下町の雰囲気を出すため、着物で甘酒を売ります。多めに仕入れ、これも地域貢献？と後半はもう一つは、お盆の八月十六日のあゆみ祭りです。真夏であることもあり、こちらは浴衣で盆踊り。亀城おどり、霞ヶ浦音頭など地域の民謡に合わせて披露します。また、手作りのもつ煮込みや小海老の天ぷらなども販売します。

古き良き時代の風

だと思っています。
(木幡節子 記)




利根の優しい「ひな飾り」

利根町商工会女性部

小高い森に囲まれた所に
ある柳田國男記念
公苑。純和風の素
晴らしい建物の中で、女性
部は「ひな飾り」を
開催し、6年目に
入りました。他のひ
なまつりと違い、決
して派手でなく心の
こもった手作り作品
で、町民に親しまれ
ています。見学者か
らの暖かい言葉「あ
は利根らし

りがとう」「楽し
みにしてい
たよ」と
の一言に、
部員一同、
1年間の
苦労も忘
れ、胸をしめつけら
れます。毎年、企
画会ではさ
まざまな意
見が出ます。
しかし、出
来る範囲で
無理はしま
せん。利根
は利根らし

く、長続きさせるこ
とが一番だと思います。今回、部長の私
が大病を患い手伝
いは出来ませんでし
たが、部員一同気持
ちを一つにして、絶
対成功させると頑
張ってくれました。
今年が一番の出来映
えと思う程
の作品で、
心から部員
の皆さんに
感謝してい
ます。来苑
して下さい
た方々が喜

んでいただく笑顔
を見ると、女性部とし
て、地域活動に小さ
なおもてなしの協力
ですが、普段は静か
な公苑通りが、期
間中、おじちゃん・
おばちゃん・お孫
さんの声に「春が来
た」と感じます。こ
れからも町の観光の
一役に続けていきな
い、そう願っていま
す。ぜひ一度、利根
の「ひな飾り」に
来苑下さい。お待ち
しています。

（武藤美知子 記）

防災頭巾作りと料理教室

八千代町商工会女性部

今年度の研修の一環として、防災グッズの一つである「防災頭巾」をつくりました。災害にいついそ、いざあ、いそは竜巻などいってどこで何が起こるかわからない、災害が起きたらまず自分で自分を守る。少なくとも2日間はお自分たちで生き延びなければならぬ「自助」。そして、地域の人々な

タオルで、もしものときに使えるように「シャツ・下着・靴下」などを縫い込んである物です。当日は防災に詳しい先生を講師に迎え、なれない縫い物に奮闘です。1時間程度で完成し、最後に出来上がった防災頭巾を試着、災害のないことを願って記念撮影をしました。

副部長 仲内京子

ポテトフライなど品目、食物繊維、カルシウム等ヘルシーな内容で、何よりも地産地消を勧めている世情にも合ったまさに野菜たっぷり料理でした。日頃家族の健康管理に活躍している主婦の部員ですから、その手際の良さには感心するばかりでした。大勢での食